

# 総 会 次 第

平成29年7月22日(土)

10時10分～11時40分

バンビオ1番館6階

配膳試食室

1. 開会の言葉(司会)小林氏
2. 挨拶 (理事長)稲岡理事長
3. 議長選出 (司会)小林氏
4. 議事録署名人及び書記選出(ここから議長)
5. 開会宣言・総会成立報告
6. 審議事項 (議案の決議)
  - 第一号議案 平成28年度事業報告および決算報告について  
事業報告(稲岡理事長)  
決算報告(中井)  
監査報告(高橋悦夫監事)
  - 第二号議案 平成29年度事業計画並びに収支予算について  
事業計画(稲岡理事長)  
収支予算(中井)
7. 閉会宣言
8. 連絡報告事項
9. 閉会の言葉(司会)

－ 総会終了後、親睦会会場に移動 －

1 事業の成果

NPO法人として9年が経過し、継続して会員の高齢化・世代交代等の課題はあるが、放置竹林整備作業、伐採竹の有効活用、タケノコの伝統栽培の継承を通じ、長岡京市の竹林美化活動とその啓発活動に寄与することができた。

2 事業の実施に関する事項～特定非営利活動に係る事業

① 事業名 放置竹林整備事業

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 金ヶ原竹林及びこらさ竹林	延べ300名	企業 219名	130千円
事業内容	<b>【目的】</b> 放置竹林を整備し、水資源の涵養、竹林の環境美化活動に貢献する。			
	<b>【内容】</b> 現在、たけのこ畑と放置竹林合わせて 16.6千㎡を管理。 放置竹林の枯れ竹処理と定期的な間伐作業をしている。  1. 長法寺B竹林～バス通りに面する。面積3千㎡ 長法寺B竹林はほぼ整備が終わり、定期的な枯れ竹の間伐と竹の焼却で、維持管理ができています。今年は不作でたけのこがほとんど出ず、たけのこの処理をせず、作業が少なく助かった。一部はボランティア応援をいただき、現状で美観維持ができています。 2. 長法寺C竹林～面積1千㎡ 長法寺C竹林は定期的な間伐とタケノコの処理を実施している。今年はたけのこを処理して美観維持と竹材利用を実施した。 3. こらさ竹林～面積7千㎡ 景観を良くするため、枯れ竹の搬出と、一部の伐採竹の焼却作業を実施。作業性アップと高齢者対策として長岡京市の支援金で作業道を 200m確保。今年から茨木高校が体育祭に竹材利用と作業応援に来ていただき、双方にプラスとなった。枯れ竹の処理は70%終わり、来年度で完了したい。さらに三菱電機労組の応援を 2 回/年入って頂けるため、作業が進んでいる。 4. 金ヶ原竹林～面積1.6千㎡ 金ヶ原竹林は青竹200本使用の話が今年も中止となった。この竹林の青竹と枯れ竹はレンタカーを借りて、竹炭を制作しているところに運び処理をした。今期は手が回らないため返却予定であったが、地主様の要求で 2 年間作業継続する。2 年間で間伐を完了する予定。			
<b>【活動の成果と課題】</b> 管理竹林整備面積16.6千㎡になり、水資源の涵養にも寄与し、周辺の環境美化に貢献。今期は会員が8名も増えたが、作業者の高齢化が進んでいる。活動を継続するため、さらに会員を増やし若返りを図っていくことが急務である。 長岡京市と協賛でボランティア養成講座などのイベント等を行い、会員をさらに増やしていきたい。さらに中学校、高校、大学に声をかけて環境と水資源の涵養の必要性を訴えてゆき、ボランティア参加を期待したい。				

② 事業名 伐採竹の有効活用

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市長法寺竹林、 野山竹林及び金ヶ原竹林	延べ 300 名	企業・学校 100名	40千円
事業内容	<p>【目的】 放置竹林の整備に伴う、大量の伐採竹の処理を焼却以外の有効利用の模索。</p> <p>【内容】 JA 京都の協力を得て、大量の伐採竹を供給できた。 竹の利用用途拡大検討として、竹パウダー、竹炭を有機農法に試行。 その他、竹垣、竹ほうき等の利用拡大も図っている。</p> <p>① 茨木高校へ青竹提供(7月13日) 体育祭用に青竹180本を提供。 こらさ竹林から竹材を伐採・提供した。 共同で、間伐・伐採竹の搬送を実施、学生と交流した。</p> <p>② 京の七夕用に笹を提供(7月下旬) 竹の提供により、竹に関心をもって頂けた。</p> <p>③ 竹炭用に竹提供(2月から3月) 竹炭業者に竹の提供。供給量は2トントラック4台と軽トラ2台分</p> <p>④ JA に竹チップ用に竹提供(11月下旬) ドンボを軽トラ8杯提供した。</p> <p>⑤ 竹炭造りと竹炭を有機農業提供 野焼きした竹炭を軽トラ6杯提供。</p> <p>⑥ 竹炭作りと竹炭を家の床下用に提供(1月) 林試式移動炭化炉を借用して600kg製作。</p> <p>⑦ 竹あそび用に灯籠と立体テーマの灯りの製作と提供 竹灯籠を400本製作提供。 立体テーマの灯りを3体製作(50～170cmの竹筒100本)。</p> <p>⑧ 立命館中高校に青竹を提供(9月17日) 体育祭用に青竹筒20本を提供。</p> <p>⑨ タイ民族竹楽器を和竹で試作支援と指導の完了(～7月26日) タイ音楽家の要請により、アンガルの発生音の理論式を導き出すと共に、タイで購入してきた劣化したアンガルンに代わり、孟宗竹で試作の支援を行い、1オクターブ分(8音)を共同で製作完了。このアンガルンを使った演奏会を9月19日に開催した。</p> <p>【活動の成果と課題】 今期もツバキエマソン殿の大口消費企業が無かったが、茨木高校、JA 京都、竹炭製作所等に提供することが出来、活用量がアップした。今後さらに活用方法をアップして行きたい。</p>			

③ 事業名 たけのこ伝統栽培の保存継承

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
毎水・土曜日 9時～12時	長岡京市 長法稲荷神社隣接竹林	約400人	71名 (エコグループ)	393千円
事業 内 容	<p><b>【目的】</b> 京都式軟化栽培法の継承により、美しい竹林を維持。 エコツアー受け入れによって、竹林を開放し、美化活動への啓発に寄与する。</p> <p><b>【内容】</b> 対象はタケノコ畑となった管理竹林の長法寺 A 竹林～面積4千㎡ 一連の作業（新竹の先止め・下草刈・施肥・ワラ敷き・土入れ）を実施。 今年度は超不作年ということであったが、一昨年と同等の作柄となった。 収穫したタケノコ（約1,300kg）は会員・エコツアー体験者等に頒布した。 タケノコ栽培が環境保全・水資源涵養につながることをエコツアー体験者に「竹林講座」の講義で説明。</p> <p>（主な共同作業）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 5月 先止め、お礼肥～タケノコ掘りが終わったあと</li> <li>② 7月 下草刈</li> <li>③ 8月 サバエ刈り</li> <li>④ 9月 親竹の更新</li> <li>⑤ 10月 稲わら収集～城陽・法隆寺方面まで出張（2日間）</li> <li>⑥ 11月 施肥・ワラ敷き</li> <li>⑦ 12月 土入れ～バックフォー、運搬車投入（2日間）</li> </ol> <p><b>【活動の成果と課題】</b> 会員・エコツアー体験者に安価でタケノコを頒布することで活動を維持。 会員には昨年同様に安価でタケノコを頒布出来た。 年々高齢化していく中での作業（土入れの運搬作業）の負担の対策として、今年も土入れ作業にバックフォーを2日間投入して、1日作業を2日作業にすることで作業密度を下げ、無事年内に終了することが出来た。</p>			

④ 事業名 地域活動／竹工芸・竹林のオープン

実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲・人数	事業費の金額 (概算)
農閑期の毎土曜日 (6～9、1～3月) 9時～12時	長岡京市 長法寺竹林の作業場	約200人	展示会に来場の 一般の市民 約1000人	24千円

事業内容

【目的】

竹林の伐採竹の孟宗竹を使った竹行灯等の製作、および作品を市内イベントで展示、また、各種団体、個人の見学の受け入れ、竹林作業の体験を受け入れ等で地域活動に貢献して、啓発活動に寄与するとともに、会員勧誘活動につなげていく。

【内容】

主に竹林の農閑期を利用して、定期活動日に会員有志で活動。  
本年度の各種地域活動への参加、イベントへの製作品展示と、見学受け入れ等は以下の通り。

- ・06/18 (土) 大阪成蹊大来訪 (流しソーメン用竹材提供) ～A竹林
- ・07/16 (土) 市役所水道局の竹の伐採～こらさ竹林
- ・07/26 (火) アンガルン製作指導最終回～船場
- ・07/27 (水) ・07/30 (土) 京の七夕用竹枝出荷～京都市内
- ・09/03 (土) 山科区住民に鹿防御用竹枝提供・出荷～A/こらさ竹林→山科
- ・09/17 (土) 立命館中高校体育祭用竹材提供～A竹林
- ・09/19 (月) 長澤明子氏のスリヤサンキート楽団アンガルン演奏会～太鼓山自治会館
- ・10/01 (土) 竹あそび友の会・立命館大・立命館中高訪問 (竹筒作り) ～A竹林
- ・10/08 (土) 竹あそび 準備&出展～長岡公園
- ・10/09 (日) 40th 全国育樹祭京都府緑化等貢献者知事感謝状受領～府民の森ひよし
- ・10/29 (土) 谷田自治会に伐採竹提供～A竹林
- ・11/09 (水) 長岡中学1学年の総合学習講師～長岡中学
- ・11/19 (土) 第8回環境フェア出展～中央公民館
- ・11/19 (土) 「環境の都賞」表彰～中央公民館
- ・01/16 (月) マイファームへ竹材提供～こらさ竹林
- ・02/04 (土) TABICA 体験ツアー企画会議～A竹林
- ・02/11 (木) 乙訓地区竹林整備団体交流会～こらさ
- ・02/12 (日) 長法稲荷神社初午祭礼参列～長法稲荷
- ・03/04 (土) 長岡京市森林ボランティア養成講座受入～こらさ&こらさ竹林
- ・04/16 (日) 長岡京市森林ボランティア養成講座参加者の作業体験会～B竹林
- ・04/23 (日) 市民竹林体験受入/自治振興室～B竹林
- ・05/20 (土) オーガニック nico へ竹消し炭提供～こらさ
- ・05/27 (土) 三菱労組環境活動協業～こらさ竹林

【活動の成果と課題】

竹行燈作品はレベル・芸術性の評価も高く、展示会への期待度も高いので、竹あそび・環境フェアへの参加を継続する。

今年もインターネットを通じて広報活動が実ってきたことと、市役所の森林ボランティア講習とその後のボランティア団体の作業体験会の連携イベントにより、8名も会員を増員することが出来た。

これからも、広報の重点を会員募集に置くようにしていく。

# 平成28年度(2016) 活動計算書

平成28年6月1日から平成29年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校

科 目	金 額		(単位：円)
I 経常収益			
1. 会費			
正会員受取会費	36,000		
入会金	9,000	45,000	
2. 寄付金			
受取寄付金	50,000	50,000	
3. 受取助成金			
長岡京水資源対策基金	136,587	136,587	
4. 事業収益			
(1) 筍栽培事業			
会員筍頒布料	322,500		
発送料、箱代	85,500		
工口頒布料	115,700		
入山協力金	32,500	556,200	
(2) 放置竹林整備事業	0	0	
(3) 竹材有効活用事業	20,000	20,000	
(4) 地域活動			
竹材提供協力金	19,500		
協賛協力金	18,000	37,500	
5. その他収益			
雑収入	5,005	5,005	
経常収益計			850,292
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
人件費計	0	0	
(2) その他経費			
賃貸料	55,839		
委託料	156,076		
材料費	77,952		
消耗備品	52,199		
補修費	13,111		
交通費	11,765		
労務費	32,340		
車両費	102,957		
消耗品費	72,079		
雑費	22,579		
その他経費計	596,897		
事業費計		596,897	
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
地代家賃	109,000		
宣伝広告費	12,960		
水道光熱費	2,000		
通信費	4,056		
福利厚生	20,000		
租税公課	600		
交通費	100,680		
印刷費	6,385		
交際費	7,400		
事務費	3,102		
雑費	17,384		
会議費	2,500		
その他経費計	286,067		
管理費計		286,067	
経常費用計			882,964
当期正味財産増減額			-32,672
前期繰越正味財産額			685,327
次期繰越正味財産額			652,655

# 平成28年度 財産目録

平成29年5月31日 現在

特定非営利活動法人 竹の学校

(単位：円)

科目・適用	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	74,583		
普通預金			
ゆうちょ銀行	140,813		
京都銀行	434,259		
JAバンク	3,000		
流動資産合計		652,655	
2. 固定資産			
固定資産合計	0	0	
資産合計			652,655
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産合計			652,655

特定非営利活動促進法 第18条の規定に基づき、平成28年6月1日から平成29年5月31日までの事業年度に関わる財産の状況を監査いたしました。

監査の方法は、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、該当事業年度に関わる財産目録、貸借対照表及び収支計算書について検討いたしました。

監査の結果、財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、当法人の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

監事

高橋悦夫  印

監事

高橋治女 

## 平成 29 年度（平成 29 年 6 月～平成 30 年 5 月）事業計画案

事業を継続し、放置竹林の整備と竹材有効活用と地域活動に取り組む。

	実施時期・目標
1) 放置竹林整備作業	
① 長法寺 A 竹林      タケノコ栽培・・・3) 項参照	通年作業による
② 長法寺 B / C 竹林    間伐作業	奇数月 第 4 (土)
③ 金ヶ原竹林          伐採作業・伐採竹搬出	偶数月 第 4 (土)
④ こらさ竹林          伐採作業・伐採竹搬出	毎月 第 2 (土)
2) 竹材の有効利用      (4. 5. 11. 12 月以外)	
① 伐採竹の竹炭焼き作業、竹粉炭、竹チップの検討	9 月・2 月
② 伐採竹で竹工芸・竹細工	毎月第 1・3 (土)
③ 伐採竹の新たな活用先の開拓検討	
3) 京たけのこの生産と技術継承（長法寺 A 竹林）	
① 京都式軟化栽培法の継承	新竹心止め 5 月 下草刈り 7 月 施肥 6・11 月 間伐 9～10 月 藁敷き 11 月 土入れ 12 月
② 土入れに新運搬車とバックホウ投入 （高齢化対策のための機械化の推進）	同上
③ 改良施肥方法の継続（効果改良・作業軽減） 施肥 従来 3 回→2 回	6・11 月
4) 地域活動・支援活動	
① エコツアーの受入れ たけのこ掘り体験 間伐作業の体験	4・5 月 9～10 月
② 放置竹林の周辺の美化活動と長法稲荷の美化	2 回（春・秋）
③ 竹工芸品（主に竹行灯）の展示による広報活動 竹あそびと環境フェア	前年並み（2 回）
④ 竹あそび準備 竹材確保と竹灯籠づくり	9 月
⑤ 他グループとの協業・見学受け入れ	3 団体程度
⑥ 京の七夕に協賛	7 月

以 上

# 平成29年度(2017) 活動予算書

平成29年6月1日から平成30年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校

科 目	金 額		(単位:円)
<b>I 経常収益</b>			
1. 会費			
正会員受取会費	36,000		
入会金	5,000	41,000	
2. 寄付金			
受取寄付金	0	0	
3. 受取助成金			
長岡京水資源対策基金	198,616	198,616	
4. 事業収益			
(1) 筍栽培事業			
会員筍頒布料	320,000		
発送料、箱代	80,000		
工口頒布料	120,000		
入山協力金	40,000	560,000	
(2) 放置竹林整備事業	0	0	
(3) 竹材有効活用事業	20,000	20,000	
(4) 地域活動			
竹材提供協力金	35,000		
協賛協力金	10,000	45,000	
5. その他収益			
雑収入	2,000	2,000	
経常収益計			866,616
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
人件費計	0	0	
(2) その他経費			
賃借料	60,000		
委託料	170,000		
材料費	80,000		
消耗備品	50,000		
補修費	15,000		
交通費	10,000		
労務費	12,000		
車両費	100,000		
消耗品費	70,000		
雑費	20,000		
その他経費計	587,000		
事業費計		587,000	
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
地代家賃	108,000		
宣伝広告費	113,000		
水道光熱費	2,000		
通信費	4,000		
福利厚生	20,000		
租税公課	1,000		
交通費	100,000		
印刷費	7,000		
交際費	6,000		
事務費	3,000		
雑費	12,616		
会議費	3,000		
その他経費計	379,616		
管理費計		379,616	
経常費用計			966,616
当期正味財産増減額			-100,000
前期繰越正味財産額			652,655
次期繰越正味財産額			552,655

平成29年7月22日  
NPO法人 竹の学校

## 平成29年度作業責任者（案）

1. 京たけのこ生産 担当 野本  
頒布 担当 川路
2. 会計 担当 中井
3. 竹林伐採整備 担当 世良田
4. 竹工芸 担当 稲岡と・澤
5. 花壇の維持管理 担当 稲岡き、高橋も
6. 備品管理（物置管理）担当 高橋え
7. 広報 竹林日記 担当 稲岡と、世良田  
ホームページ管理・エコツアー受入れ担当 稲岡と
8. 竹炭作り（2回） 担当 高橋え
9. 竹・木工細工（間伐材活用）担当 荒木、梶原
10. 竹あそび 担当 東
11. 外渉窓口 担当 世良田、稲岡と（WEB）

担当者は業務の実行と管理をお願いします。担当以外の人にも積極的な協力をお願いします。